

抗議文

日付：2016 年 3 月 11 日

発信：歴史の真実を伝える三者連合

宛先：国連人権委員会各位

件：慰安婦に関する最終見解第 28 及び 29 項

残念なことに、上述の項の文章は極めて不快、傲慢であり、父祖に着せられた濡れ衣の汚名を雪がんとする我々の神聖な使命を踏みつけにする無礼そのものであると思料する。

第一に、これらの文章は、日本派遣団の長である杉山氏の発言についての貴委員会の見解を記載していない。次の文章は、貴委員会自身の「2016 年 2 月 16 日付第 1375 回会議の概要記録」から引用した杉山氏の発言である。

「第 36 項

日本政府が 1990 年代に行った慰安婦問題に関する徹底調査では、日本の軍または官憲が婦女子を彼女らの母国から強制連行したという、広く信じられている事情を確認できるものはなかった。日本の小説家・吉田清治が 1983 年に表明した同じ趣旨の証言は論争を呼んだ挙句、日本の研究者により誤りであることが証明された。更に、日本の主要紙は、2014 年、吉田の作り話しに大きく依拠した記事についての正誤表を発行し、読者に謝罪した。第二次大戦中、20 万人の婦女子が慰安婦にされたとする日本の主要紙による主張を裏付ける証拠は存在しない。そのことは当該主要紙自身が認めている。その数字は、慰安婦として募集された女性の数と女子挺身隊として募集された女性の数とが合わさったものであろう。日本政府はまた、慰安婦が性奴隷に近いものであったとする根拠なき主張を拒絶している。」

我々は、インターネット動画を通じて、杉山氏の発言の後に貴委員会の 1 人が立ち上がり、「歴史は歴史です！」とヒステリックに叫んだ場面を見た。多分、貴委員会のうち何人かは、歴史などどうでもよくて、日本の国家と民族の肌に焼きごてで「強姦魔・人殺し」の烙印さえ押せば満足なのであろう。

これを証明することが、既述の項が、1996 年のクマラスワミ報告に対する我々の反論書について、貴委員会が何らの見解も記載していないことである。詳細は繰り返さないが、我々その要は、日本の徹底調査に加えて、米国政府によって行われた IWG 報告でも慰安婦の犯罪性を確認できるものは発見されず、韓国政府も強制連行を示す証拠を提示したことはない。元慰安婦らの証言はソウル大学の安ビョンジク教授が指摘するように極めて疑わしい、

ということである。

反論書に捕捉することとして、**Korean Council of Women Drafted for Sexual Slavery by Japan (Korean Council 挺対協)**の名に明らかに現れているように、工場における挺身隊労働と慰安所における売春サービスとの意図的な混用がある。この韓国の団体の日本に対する誹謗中傷活動への熱意は既に狂信的レベルに達している。挺身隊労働は、日本または朝鮮内における工場労働であって、海外の戦場後方地における売春サービスではなかった。海外における、かかる労働は、該当する法律のどこにも一切書かれていない。従って、かかる韓国の運動団体の名前そのものが、悪質な噂を流すためのイカサマなのである。

杉山氏が発言のなかで触れている「主要紙」は、1990 年代初期にこの混用を用い、2014 年になって、この混用は誤りであったことを認めた。混用は日本では修正されたが、韓国では修正されずに残っている。

サラ・ソー教授がナムムの家で取材した元慰安婦の 1 人は、「韓国で生存している元慰安婦の 80%は以前から売春婦であったと述べている。そして、挺対協は、この元慰安婦の証言をシリーズものの元慰安婦の証言集に含めないようにした」(P97, Sarah Soh 著 “The Comfort Women” Chicago Press) のである。

このような状況の下で、元慰安婦の苦労話しが本当のことなのか証告にあたるのか、その証言を検証せずに、どうしてその証言に信を置くことができようか。

これらの諸事情と、日韓併合時代に発行された新聞紙面および米軍情報戦争局作成の売春婦尋問報告 49 号を含む証拠の数々から、日本の国家と国民には推定無罪の権利が適用されなければならない。

しかるに貴委員会は、それでも「何人かの慰安婦が、彼女らの苦しみが日本国による深刻な人権侵害であったとする日本国の明確な認知を受けられないまま死亡したこと」を遺憾とし、日本国が「賠償、満足、公式の謝罪、復帰サービスを含む有効かつ本格的な是正措置を講じる」よう押し付けがましく求める。

これが現代の集団リンチではなくて何だろうか。

国連は、朝鮮戦争で第 5 補給品として国連軍兵士に性サービスをするよう強制動員された（「洋公主」と呼ばれる）朝鮮人慰安婦に対して、「賠償、満足、公式の謝罪、復帰サービスを含む有効かつ本格的な是正措置」を講じたことがあるか。

我々は、貴委員会が偽善者の一団だと確信した。我々は、貴委員会が「人権侵害委員会」と名称を変更するよう、強く勧める。

前述の項において、我々が見過ごすことのできないもう一つの文言は、最近の日本の韓国との二国間合意が「被害者中心のアプローチを十分に採用していない」というものである。

ナヌムの家の元慰安婦らが、日本に対して、どのような要求をしているか、ご存知なのだろうか。彼女らの要求は、「安倍首相または今上明仁天皇が、ナヌムの家に来所し、跪いて彼女らから許しを請う」というものだ。

このように増長慢した化け物を誰が創り出したのか。それは、歴史の事実を軽んじ、今の世界で戦争により疲弊した国々で苦しむ女性や子供らのことは無視して、日本の文明人をサデステックに糾弾するため、朝から晩まで埒もないことを書くために時間を費やしている、あなた方とあなた方に類する人々だ。

貴委員会の要求及び勧告は、日本の国家と国民に対する侮辱である。我々日本人は、中世時代のような元慰安婦らのばかげた要求に屈する意思はない。

以上